

作物統計調査 令和3年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量 及び出荷量

— 全国の春植えばれいしょの収穫量は、前年産に比べ1%減少 —

【調査結果の概要】

1 全国

作付面積は6万8,500haで、前年産に比べ1,100ha(2%)減少した。

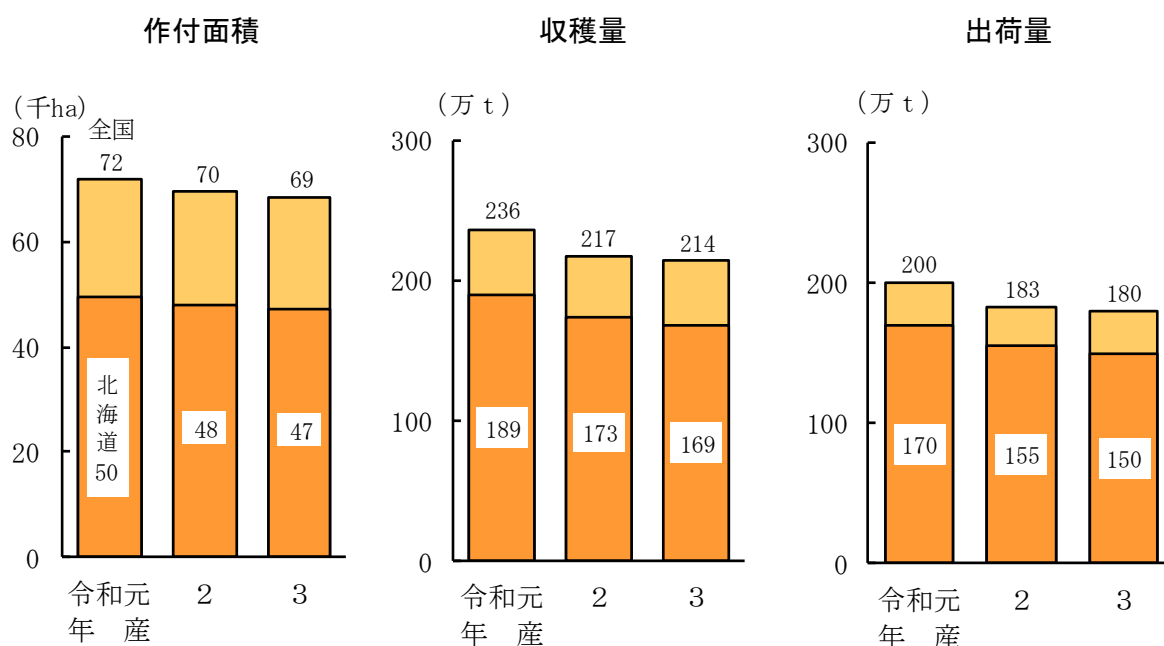
収穫量は213万9,000t、出荷量は179万5,000tで、前年産に比べそれぞれ2万8,000t(1%)、3万2,000t(2%)減少した。

2 北海道

作付面積は4万7,100haで、前年産に比べ1,000ha(2%)減少した。

収穫量は168万6,000t、出荷量は150万1,000tで、前年産に比べそれぞれ4万7,000t(3%)、5万2,000t(3%)減少した。

図1 春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量(全国)



◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における野菜の生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

◎ 累年データ

春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

1 全国

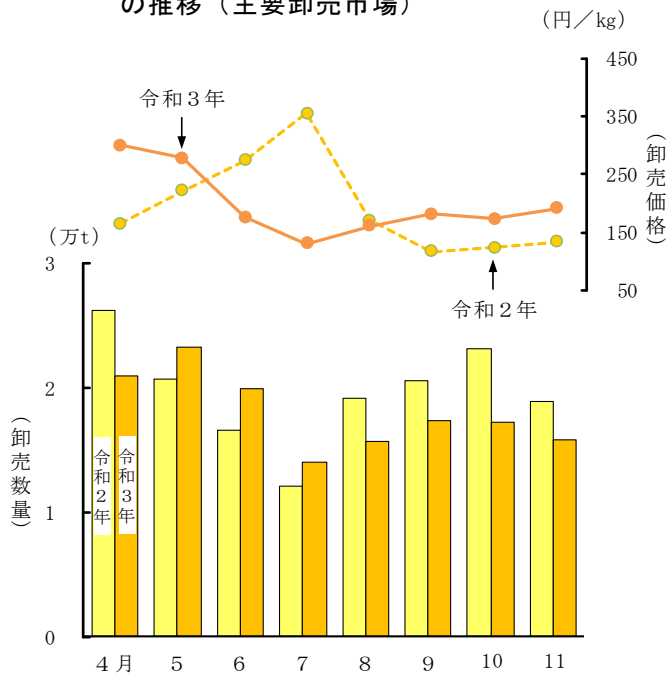
2 北海道

年 産	1 全国				2 北海道			
	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	ha	kg	t	t
平成24年産	78,300	3,130	2,447,000	2,021,000	53,400	3,630	1,938,000	1,716,000
25	76,900	3,070	2,360,000	1,963,000	52,400	3,580	1,876,000	1,668,000
26	75,500	3,190	2,409,000	2,019,000	51,500	3,720	1,916,000	1,715,000
27	74,600	3,170	2,365,000	1,974,000	51,000	3,740	1,907,000	1,698,000
28	74,600	2,890	2,158,000	1,787,000	51,200	3,350	1,715,000	1,521,000
29	74,500	3,160	2,355,000	1,966,000	51,300	3,670	1,883,000	1,678,000
30	74,000	2,990	2,215,000	1,855,000	50,800	3,430	1,742,000	1,557,000
令和元	72,000	3,270	2,357,000	1,996,000	49,600	3,810	1,890,000	1,697,000
2	69,600	3,110	2,167,000	1,827,000	48,100	3,600	1,733,000	1,553,000
3（概数）	68,500	3,120	2,139,000	1,795,000	47,100	3,580	1,686,000	1,501,000

資料：農林水産省統計部「野菜生産出荷統計」

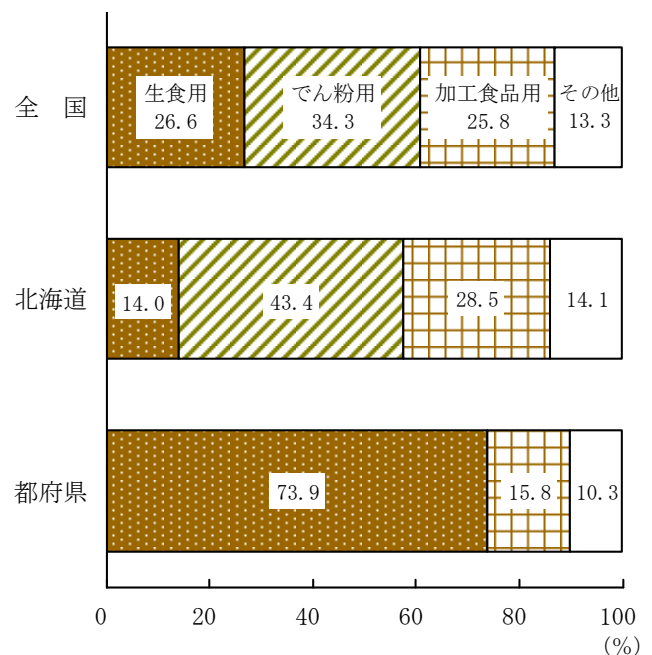
◎ 関連データ

1 ばれいしょの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」
注：全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の全ての卸売会社の日別値を加算し算出したものである。

2 ばれいしょの用途別消費量割合（令和2年度概数）



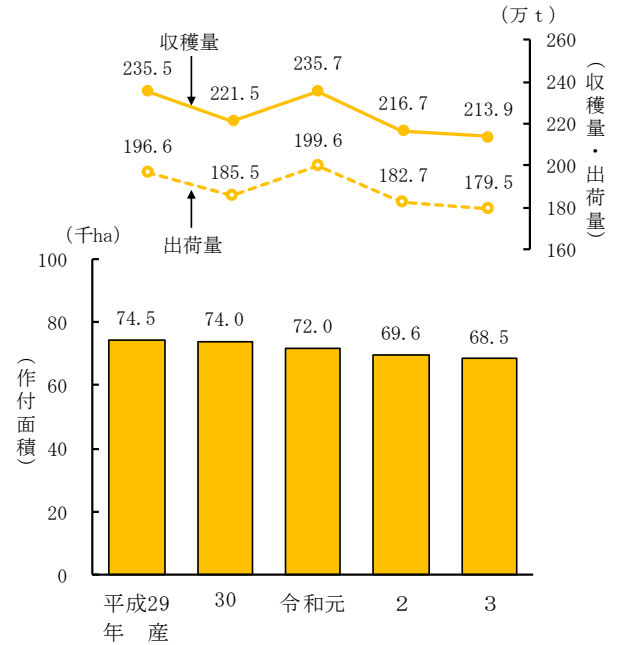
資料：農林水産省政策統括官「いも・でん粉に関する資料」
注：1 でん粉用は北海道のみである。
2 その他は種子用、飼料用等である。

【調査結果】

1 全国

- (1) 作付面積は6万8,500haで、前年産に比べ1,100ha（2%）減少した。
- (2) 10a当たり収量は3,120kgで、前年産並みとなった。
- (3) 収穫量は213万9,000t、出荷量は179万5,000tで、前年産に比べそれぞれ2万8,000t（1%）、3万2,000t（2%）減少した。
- (4) 都道府県別にみた収穫量割合は、北海道が全国の約8割を占めている。

図2 春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）



2 北海道

- (1) 作付面積は4万7,100haで、前年産に比べ1,000ha（2%）減少した。
- (2) 10a当たり収量は3,580kgで、前年産を20kg（1%）下回った。
- (3) 収穫量は168万6,000t、出荷量は150万1,000tで、前年産に比べそれぞれ4万7,000t（3%）、5万2,000t（3%）減少した。

図3 春植えばれいしょの都道府県別収穫量

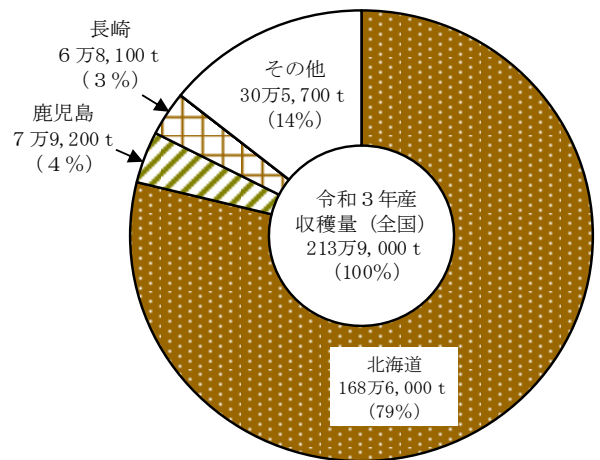


表 令和3年産春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

区分	作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比				(参考) 対平均収量比
					作付面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
全国	68,500	3,120	2,139,000	1,795,000	98	100	99	98	100
うち北海道	47,100	3,580	1,686,000	1,501,000	98	99	97	97	99

注：「(参考) 対平均収量比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

【統計表】

令和3年産春植えばれいしょの作付面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 ・ 都道府県	作付面積	10a当たり 収量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比				(参考)
					作付面積	10a当たり 収量	収 穫 量	出 荷 量	対平均 収量比
	ha	kg	t	t	%	%	%	%	%
全 国	68,500	3,120	2,139,000	1,795,000	98	100	99	98	100
うち 北海道	47,100	3,580	1,686,000	1,501,000	98	99	97	97	99
青 森	677	2,300	15,600	11,700	101	106	107	104	100
宮 城	478	1,400	6,690	1,980	96	104	100	98	102
福 島	978	1,640	16,000	2,190	98	101	98	100	93
茨 城	1,630	3,030	49,400	42,500	101	117	118	120	103
千 葉	1,140	2,610	29,800	24,900	98	108	106	107	108
長 野	861	1,860	16,000	1,410	94	104	98	98	94
静 岡	484	2,910	14,100	12,000	99	128	127	126	122
三 重	170	1,260	2,140	1,350	96	124	118	118	104
岡 山	151	1,100	1,660	297	88	110	97	96	94
広 島	344	1,550	5,330	1,930	99	109	108	147	112
佐 賀	101	2,330	2,350	1,690	98	104	102	104	108
長 崎	2,340	2,910	68,100	59,500	100	103	102	103	105
熊 本	517	2,550	13,200	9,940	99	128	127	127	118
宮 崎	403	2,680	10,800	10,200	102	101	103	103	108
鹿 児 島	3,920	2,020	79,200	74,100	104	100	104	105	102

注：「(参考) 対平均収量比」とは、10a当たり平均収量(原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び作況調査の野菜調査として実施したものであり、春植えばれいしょの生産に関する実態を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における野菜の生産努力目標の策定及び達成状況の検証、農業保険法に基づく畑作物共済事業の適切な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

令和3年産については、主産県を調査の対象としている。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査を作付面積調査は3年(直近は令和元年産)、収穫量調査は6年(直近は平成28年産)ごとに実施しており、全国調査以外の年にあつては直近の全国調査年における面積調査結果に基づき、全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県、野菜指定産地に指定された区域を含む都道府県及び畑作物共済事業を実施する都道府県を調査の範囲(主産県)としている。

(2) 調査対象者の選定

ア 作付面積調査

関係団体調査(全数調査)

春植えばれいしょを取り扱っている全ての農協等及び野菜生産出荷安定法(昭和41年法律第103号)第10条第1項に規定する登録生産者とした。

イ 収穫量調査

(ア) 関係団体調査(全数調査)

春植えばれいしょを取り扱っている全ての農協等及び野菜生産出荷安定法(昭和41年法律第103号)第10条第1項に規定する登録生産者とした。

(イ) 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2020年農林業センサスにおいて調査対象品目を販売目的で作付けし、関係団体以外に出荷した農林業経営体から、作付面積の大きさに比例した確率比例抽出法により抽出を行った。

標本の大きさ（標本経営体数）については、全国の10a当たり収量を指標とした目標精度（1～2%）が確保されるよう、春植えばれいしょの全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（3～15%）を設定し、必要な標本経営体数を算出した。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効 回答数 ②	有効 回答率 ③=②/①	母集団 の大きさ ④	標本の 大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効 回答数 ⑦	有効 回答率 ⑧=⑦/⑤
春植えばれいしょ	団体 401	団体 358	% 89.3	経営体 13,047	経営体 894	% 6.9	経営体 450	% 50.3

注：「有効回答数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回答はあったが、当年産において作付けがなかった標本経営体等は含まれていない。

3 調査事項

(1) 作付面積調査

春植えばれいしょの作付面積

(2) 収穫量調査

ア 関係団体調査

春植えばれいしょの作付面積及び出荷量

イ 標本経営体調査

春植えばれいしょの作付面積、出荷量及び「自家用、無償の贈与、種子用等の量」

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、春植えばれいしょの主たる収穫期間は、次のとおりである。

区 分	主たる収穫期間
都 府 県	令和3年4月～8月
北 海 道	令和3年9月～10月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

ア 作付面積の集計は、関係団体調査結果を基に、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

イ 収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査の結果から得られた10a当たり収量に作付面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集により補完している。

ウ 出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり出荷量等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、直近の全国調査の調査結果（作付面積調査は令和元年産、収穫量調査は平成28年産）に基づき、次により推計した。

全国値 = 直近の全国調査年の全国値 × 主産県値の比率 (X)

X : 当年産の主産県値 ÷ 直近の全国調査年の主産県値

7 実績精度

(1) 作付面積調査

関係団体に対する全数調査結果を用いて全国値を算出していることから、実績精度の算出は行っていない。

(2) 収穫量調査

本調査の10a当たり収量に係る調査結果(主産県計)の実績精度を標準誤差率(標準誤差の推定値÷推定値×100)により示すと、0.4%である。

8 用語の解説

(1) 作付面積とは、は種又は植付けをしたもののうち、発芽又は定着した延べ面積をいう。

(2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。

(3) 出荷量とは、収穫量のうち、生食用、業務用向け、加工用として販売した量をいい、生産者が自家消費した量及び種子用、飼料用として販売したものは含めない。

なお、野菜需給均衡総合推進対策事業や都道府県等が独自に実施した需給調整事業により産地廃棄された量は、収穫量に含めるが出荷量には含めない。

(4) 10a当たり平均収量とは、原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値をいう。

ただし、直近7か年全ての10a当たり収量が確保できない場合は、6か年又は5か年の最高及び最低を除いた平均とし、4か年又は3か年の場合は、単純平均である。

(5) 対平均収量比とは、10a当たり平均収量に対する10a当たり収量の比率をいう。

9 利用上の注意

(1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		7 桁 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁(下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前(原数)	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値(統計数値)	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

(2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和3年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量」(農林水産省)による旨を記載してください。

10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載(令和4年12月予定)するとともに、その後刊行する「令和3年産野菜生産出荷統計」に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】
この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「野菜」の「作況調査（野菜）」で御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_yasai/index.html#y5 】

【関連リンク】

野菜関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞野菜のページ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3680
（直通）03-6744-2044
F A X： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589
（直通）03-6744-2037
F A X： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)
<https://www.e-stat.go.jp/>